

7部

卒業と
資格・免許状
取得のために

1 // 平成28年度(2016年) 9月卒業希望の方へ

1 9月卒業希望者登録と卒業延期願の提出について

下記(1)または(2)に該当の方は、本年9月卒業希望者として登録いたしません。

本年9月に卒業を希望しない方は、本冊子巻末の「卒業延期願」を7/20必着で提出してください。

- (1) 今年2～7月の「卒業試験」または「卒業研究」に合格(予定含む)した方
 - (2) 昨年度1月までの「卒業試験」または「卒業研究」に合格し「卒業延期願」を提出した際に「2016年9月卒業希望」と記入した方
- ※上記以外で9月卒業を希望する方は書面(様式自由)で通信教育部までご連絡ください。

2 9月卒業希望の方の今後のスケジュール

上記(1)(2)いずれかに該当し、「卒業延期願」を提出していない方は、9月に卒業の意思ありと判断させていただきます。

今後の卒業までの流れは、下記のとおりとなります。なお、各判定日までに卒業要件を満たした方が卒業可能となります。その他卒業のための諸期限については、『試験・スクーリング情報ブック2016』p.36をご覧ください。卒業について何か不安な点がございましたら、通信教育部まで書面でご質問ください。

6月17日	履修状況票発送予定。卒業試験合格済みまたは6月卒業試験申込者にお送りします。9月卒業登録されていることと不足単位を各自でご確認ください。 ※6/22頃までに履修状況票が届かない場合は至急お申し出ください。
6月18日	卒業研究提出期限（福祉心理学科は7/31）
7月13日	7月科目修了試験受験のためのレポート提出締切日
7月31日	第1回卒業判定日 ※レポート提出期限
8月31日	第2回卒業判定日 ※再提出レポート提出期限・スクーリング受講期限
9月20日	第3回卒業判定日
9月30日	最終卒業判定日

●卒業までの学習計画について

『試験・スクーリング情報ブック2016』 p. 36をご確認の上、レポートやスクーリング試験、科目修了試験の結果が出るまでには、約1カ月かかることを鑑み、お早めに学習を行ってください。

3 9月卒業の卒業研究受講者へ

昨年10月以前に卒業研究を申込まれた方で、期限（社会福祉学科6/18、福祉心理学科7/31）までに「卒業研究」を提出予定の方に、6/5まで「製本セット」（黒表紙の台紙2冊分）を送付予定です（社会福祉学科の方は通信教育部まで製本セットをお申込みください）。

2 平成28年度(2017年)3月卒業希望の方へ

3月卒業者希望者の卒業のための諸期限は『試験・スクーリング情報ブック2016』p.36に記載がございますので、必ずご確認ください。

3 社会福祉士 取得希望の方へ

社会福祉士関連(演習・実習等)の問合せ先 uj@tfu-mail.tfu.ac.jp

◆=平成20年度以前入学者対象 ★=平成21~23年度入学者対象

■=平成24年度以降入学者対象

1 発送物のご案内

「★■演習A」「◆演習I」受講許可通知・受講料納入依頼書(5/31締切
の申込者で受講条件達成者) 6/8発送予定
帰校指導・巡回指導決定通知書 6/10発送予定

2 「★■演習A」「◆演習I」受講希望の方へ

5/31までに受講申込をしなかった現在3年次以上の方で、来年度に「社会福祉援助技術(現場)実習」の受講を希望する方は、次回以降の判定日(6/15 or 6/30)までの受講条件達成と申込ハガキ(『With』114号巻末)の提出を行ってください。ただし、受講可能なのは7/2・3以降(6/30の判定日で受理の場合は7/23・24のみ)で定員に余裕がある日程・会場のみとなります。

3 「★■演習B」「◆演習II」受講希望の方へ

9/15締切のスクーリング受講申込に関するご案内は、次号（『With』117号）に掲載となります。

4 実習免除者・科目等履修生での実習希望者対象 「★■演習C」スクーリングのご案内

【開講日・会場】8/6・7 本学 仙台駅東口キャンパス

【申込・受講条件達成締切】6/20（『With』113号巻末用紙を提出）

【受講条件】『レポート課題集A（社福・精保指定科目編）』p.151を参照。

※次回の開講日は1/28・29で、申込締切日は12/20です。

※来年度、科目等履修生に再入学し「実習指導A」「実習指導B」「実習」の受講を予定している方で、まだ「演習C」の受講申込をされていない方は、今回のスクーリングを申込み受講する必要があります（併せて『学習の手引き』4章「III 再入学・通学課程への編入学」の「2 科目等履修生への再入学」をご一読ください）。

5 2016年度版『実習の手引き 第1分冊』について

9/1～9/15に受付の実習申込み（実習受講は来年度）には、2016年度版『社会福祉援助技術実習の手引き 第1分冊』が必要です。

※昨年8月までに「演習A」スクーリングを受講した方で、今年の9/1～9/15に実習申込予定の方は、書面（様式任意。Eメール uj@tfu-mai.tfu.ac.jp・FAX・郵送）でお申込みください。

※発送予定は7月上旬。

※平成26年度以降に「体験学習・次年度実習ガイダンス」を受講していない方には「体験学習・次年度実習ガイダンス内容確認書」などを同

封します。該当する方はお知らせください。

4

国家試験受験希望者へのご案内 社会福祉士・精神保健福祉士

1 国家試験受験にあたって

※学生自身で下記①②を申し込む必要があります。

- ①『受験の手引き』：「社会福祉振興・試験センター」へ（7月下旬以降）
（ホームページ）<http://www.sssc.or.jp>
（試験案内電話）03-3486-7559 （試験室電話）03-3486-7521
- ②「受験申込に必要な証明書」：通信教育部へ（8/1～9/25）
下記『1〕「受験申込に必要な証明書」の発行について』参照。

1) 「受験申込に必要な証明書」の発行について

【発行条件】90単位以上（指定科目40単位以上）の修得（3年次編入学者は一括認定単位の62単位を含む）。

※9/25時点で未達成の場合、来年1月の国家試験は受験不可。

※条件達成のためのレポート提出、科目修了試験受験、スクーリング受講は8/25までに完了すること。

【申込期間】8/1～9/25

【申込方法】「各種証明書申込書」の提出（本冊子巻末等）。

※『受験の手引き』内の用紙の提出は不要です。

【申込種類】（本年9月末に卒業予定の方も含め見込証明書）

●社会福祉士国家試験受験希望者

正科生：「社会福祉士指定科目履修見込証明書」

科目等履修生：「社会福祉士指定科目（実習科目）履修見込証明書」（通

信教育部または通学課程教務部「社会福祉士指定科目履修証明書」の申請も必要)

●精神保健福祉士国家試験受験希望者

「精神保健福祉士指定科目履修見込証明書」

2) 受験後に必要な手続き

国家試験受験後、「国家試験受験番号連絡票・国家試験証明書申請用紙」(『学習の手引き』or『実習の手引き』巻末)を通信教育部実習係宛てにご提出ください。「社会福祉士指定科目履修証明書」または「精神保健福祉士指定科目履修証明書」を通信教育部から試験センターに送付します。

2 国家試験対策講座・講義のご案内【再】

『With』114号p.68～71, 115号p.50～51でご案内しました「国家試験対策講座(特講・社会福祉学5・6)」「国家試験対策講義」につきまして、再度のご案内です。いずれも、これまでの受講者よりご好評をいただいておりますので、ぜひ受講をご検討ください。

「特講・社会福祉学5・6」(社福・精保)

【内容】大学より郵送される模擬小テストに解答のうえ返送する(7～12月に全6回)。

【申込締切・方法】6/20必着。『With』114号巻末の「特講・社会福祉学5・6 受講希望届」の提出。

「国家試験対策講義」(社福・精保)

【内容】講義の受講等(共通科目・専門科目の解説、模擬試験等)。

【申込締切・方法】大学より郵送の案内文書を参照。今年度国家試験受験予定で案内文書が届かない方は、国家試験受験対策係宛て(Email: goukaku@tfu-mail.tfu.ac.jp・FAX・郵送)にご連絡ください。

5 精神保健福祉士 取得希望の方へ

◆★：旧カリキュラム（平成23年度以前入学者）

■：新カリキュラム（平成24年度以降入学者）

精神保健福祉士関連メールアドレス：psw@tfu-mail.tfu.ac.jp

●発送物のご案内

科目名・発送物	対象者	発送(予定)日
「■精保演習A」 スクーリング受講許可証	6・7月受講予定者	6/2ごろ
「■精保演習B-1+精保実習 指導A-1」（精保実習A事前 指導）スクーリング受講許可証	平成28年度「■精保実習 A」受講予定者	7/2ごろ
「◆★精保実習」・「■精保実習 B」実習巡回指導教員担当通知	平成28年度「◆★精保実 習」「■精保実習B」受 講予定者	6月上旬

【旧・新カリキュラム共通】



平成28年度国家試験受験予定の方へ

前項「社会福祉士・精神保健福祉士 国家試験受験希望者へのご案内」
の「1 国家試験受験にあたって」をご参照ください。

【平成23年度以前入学者(旧カリキュラム)の方へ】

1 6/18~19「◆★精保演習」スクーリング受講予定の方へ

「■精保演習A」(新カリキュラム)スクーリングとの合同開講となります。演習が不合格となった場合は、『学習の手引き2012-2016版』p.131の「■補講演習について」の内容が適用されます。

2 平成28年度「◆★精保実習」受講予定の方へ(今後の流れ)

「◆★精保実習(事前指導)」受講後、実習先の実習指導者に連絡を取り、事前訪問または郵送にて「実習計画案」の内容確認を受け、「実習計画書」を作成後、原則として6/19までにコピー3部を本学にご提出ください。

なお、事前訪問(実習先によってはオリエンテーションを実施する場合もあり)は必ず行い、実習開始前(2週間前が目安)には、封書にて実習受入の御礼と指導をお願いする旨の手紙を実習先に送付してください。

また、6月上旬に実習巡回指導教員を通知します。所定の方法にて連絡を取り、挨拶を行い、面談等により指導を受けてください(通知文書参照)。

3 次年度「◆★精保実習」受講希望の方へ

申込み方法などにつきましては、次号『With』117号にてご案内いたします。10月末～1月末の各受講判定までに受講条件(『レポート課題集A(社福・精保指定科目編)』p.260～261参照)を達成するよう、計画的に学習を進めてください。

また、『With』114号p.65でご案内いたしました「3 今後「◆★精保実習」受講希望の方へ【重要】」につきましては、今後の旧カリキュラム

実習希望者数（見込み）の実態を把握することができましたので、その方々へのサポートと併せて、今後徐々に旧カリキュラム実習実施の終了、および新カリキュラムへの移行へ進めてまいります。

【平成24年度以降入学者(新カリキュラム)の方へ】 《実習受講者・実習免除者共通》

1 「■精保演習A」スクーリング受講予定の方へ

「■精保演習A」（6・7月開講）スクーリングは、『レポート課題集A（社福・精保指定科目編）』p.218「■科目の評価基準」に従い、総合的に評価します。演習が不合格となった場合は、『学習の手引き2012-2016版』p.131の「■補講演習について」の内容が適用されます。

《実習受講者専用》

（「■精保実習A（福祉施設実習）」（10/1～2/15）関連）

2 「■精保演習B-1+精保実習指導A-1」（精保実習A事前指導）スクーリング受講予定の方へ

スクーリング会場につきましては、仙台駅東口キャンパスではなく、ステーションキャンパス館（JR仙山線・東北福祉大前駅の改札口を出てすぐ）となっておりますので、お間違いのないようにしてください。

3 平成28年度「■精保実習A」受講予定の方へ

今年度「■精保実習A」スクーリング受講予定者の実習先の受入内諾確保は既に完了しています。『学習の手引き2012-2016版』p.134の各受講条件が達成されないことにより、実習受入先の内諾を辞退することになれば、実習先に多大な迷惑をかけるだけでなく、次年度以降の実習先確保に

も影響します。「■精保実習A」に係る受講条件を期日までに達成するよう、計画的に学習を進めてください。

（「■精保実習B（医療機関実習）」（7/1～12/25）関連）

4 平成28年度「■精保実習B」受講予定の方へ （今後の流れ）

「■精保演習C-1+精保実習指導B-1」（精保実習B事前指導）スクーリング受講後、実習先の指導者に連絡を取り、事前訪問または郵送にて「実習計画案」の確認を受け、「実習計画書」を作成後、原則として6/15（5月21・22日受講者は6/19）までにコピー3部を本学に提出してください。

なお、事前訪問（実習先によってはオリエンテーションを実施する場合もあり）は必ず行い、実習開始前（2週間前が目安）には、封書にて実習受入の御礼と指導をお願いする旨の手紙を実習先に送付してください。

また、6月上旬に実習巡回指導教員を通知します。所定の方法にて連絡を取り、挨拶を行い面談等により指導を受けてください（通知文書参照）。

《実習免除者専用》

5 6/4・5「■精保演習C（実習免除者用）」 スクーリングを受講した方へ

7/6までに「■精保演習C」2単位めレポートを提出してください。

また、今年度国家試験受験予定の方は、『学習の手引き2012-2016版』p.127「精神保健福祉士国家試験受験資格取得に関する指定科目」のうち、「精神保健福祉援助実習指導A・B」「精神保健福祉援助実習A・B」の4科目を除く科目を単位修得し、スクーリング単位数等の卒業要件を満たすよう、計画的に学習を進めてください。

6 教員免許状 取得希望の方へ

『試験・スクーリング情報ブック2016』 p. 37～38を必ずご確認ください。

1 「実習」関連各種発送状況について

下記のものを送付しています。未着の場合は至急ご連絡ください。

(障害者) 教育実習関連

- ・「実習受講許可証」, 「実習日誌」 → 実習受講条件を達成した方へ随時
- ・「障害者教育実習事前指導スクーリング受講許可」 → 7/15発送予定
- ・「事前指導スクーリング免除通知」 → 免除に該当した方へ随時
- ・「内諾依頼状」等の書類 → 「内諾依頼状」発行条件を達成した方で登録カードを事務室へ提出した方へ随時

介護実習関連

- ・「事前レポート用紙」, 「介護実習の手引き」, 「依頼書」, 「依頼書の記入例」, 「内諾書」, 「誓約書」, 「健康診断書」, 「実習証明書」, 「封筒(白)」, 「返信用封筒(青)」 → 「介護実習 登録カード」を提出し, 「介護実習事前指導」スクーリング受講条件を達成した方へ随時

2 実習事前指導スクーリング受講条件を満たすように努力してください

今後, 「障害者教育実習」「介護実習」を受講予定の方は, 『レポート課題集D (特別支援編)』をご覧ください, 事前指導スクーリング受講条件や「内諾依頼状」発行条件をお早めに満たすようにしてください。

「介護実習」「教育実習 (高校福祉科)」を受講希望の方は, すでに免許状取得希望登録をしている方に限られます。ホームページ上の『レポート課題集D (特別支援編)』『レポート課題集F (高校福祉科免許状科目)』『教育実習』欄をご参照ください。

直近の事前指導とその申込締切日は下記のとおりです。

事前指導	申込締切日	開講日	申込方法
介護実習 (最終開講)	6/10	7/16~18	『レポート課題集D (特別支援編)』 巻末申込用紙
障害者教育実習	7/7	7/30・31	本冊子巻末ハガキ

なお、「障害者教育実習」受講希望者は、事前指導スクーリング申込締切日までに「麻疹（はしか）の抗体を有する旨の医師の文言が入っている証明書」のコピー1部を本学に提出する必要があります。

また、早めに「内諾依頼状の発行条件」を満たし、「障害者教育実習 登録カード」を通信教育部に送付してください。

3 特別支援学校・実習の内諾依頼について

平成29年度に北海道・東京都および仙台市近郊等の特別支援学校での教育実習受講希望者は、前年度依頼が必要なため、北海道は7/5、仙台市近郊の指定8校は7/10、東京都は9/15までに通信教育部まで書面（郵送・FAX）で下記事項をお知らせください。

①氏名 ②住所・電話番号・（あれば）メールアドレス ③所持している基礎免許（幼・小・中・高や教科） ④実習希望の学校での主たる領域（知的障害・肢体不自由・病弱・聴覚障害） ⑤実習希望校（第3希望まで） ⑥学校に通うために、特に配慮が必要な事項（特別な事情がある場合のみ） ⑦実習希望時期（平成29年度5～7月か、10月以降か）とそのための学習計画。

※上記以外でも、前年度依頼が必要な府県もある可能性があります。ご自身でご確認ください。

※本学では平成29年度までに受講いただくことになっているため、上記前年度依頼が必要な地域での実習申込は今年度で最終となります。

7 幼保特例講座受講の方へ

●4月生の方へ

(1) 教科書発送状況

平成26・27年度入学の方へ，平成28年度の学生証有効期限シール，および新規履修登録科目の教科書と専用レポート用紙を発送済みです。

新入生へ，教科書と専用レポート用紙を発送済みです。

(2) webレポート配信状況

平成28年度の履修登録科目について，全員へwebレポートの配信を開始しています。ぜひ「TFUオンデマンド」上で解答してみてください。

●10月生の方へ

10月生の方の学習期限は以下のとおりです。9月までに単位修得できるよう，ご努力ください。

- ・レポート提出：8/17（第4回科目修了試験申込締切日）
- ・科目修了試験受験：9/3or 4（第4回科目修了試験）
- ・保育士資格取得科目「乳児保育」スクーリング受講：8/20・21
レポート提出：8/31

●保育士資格取得希望の方へ

(1) スクーリング必須科目「乳児保育」の受講申込について

【申込方法】本冊子 p. 33参照。

(2) 平成28年後期保育士試験申込みについて

『With』114号でご案内したとおり，平成28年より保育士試験の申込時期が変更されています。

平成28年後期の受験申請を希望される方は、全国保育士養成協議会のホームページをご確認いただき、7/27(当日消印有効)までに受験申請を行ってください。

受験申請に必要な「幼稚園教諭免許所有者保育士試験免除科目専修証明書(特例教科目)」の発行申込みは、お早めをお願いいたします(申込方法は『学習の手引き』参照)。

●幼稚園教諭免許状取得希望の方へ

『With』114号でご案内しました、新しく「教職論(特例)」の教科書として追加指定された『幼稚園教育要領解説—平成20年10月』について、単位未修得の10月生および平成28年度継続履修された4月生へ、5/2までに発送済みです。お手元に届いていない方は通信教育部までご連絡ください。

卒業生アンケートより（2）

平成28年3月卒業生アンケートより、自由記述について一部抜粋いたしました。今後の学習にご活用ください。（p. 48にも掲載しています）

- 科目修了試験対策について在学生へのアドバイスがあれば教えてください。
 - ・何度でも挑戦することができます。まず一度試験を受けてみて、“不可”の場合もあきらめず受け続けることが重要です。
 - ・1日4科目はかなりの勉強が必要。2科目程度に絞り準備する方が効果的。
 - ・いつも思うのが、その科目の一番大事なことが試験となっている。何が大事なことなのかを見極め、勉強することが大事。
 - ・教科書を大まかに読み、大切なキーワードをメモして、全体を通して読み終えてから、キーワードをまとめる。こうすると、飽きずに、全体への概要と詳細な知識を把握できる。自分で問題をつくり、繰り返し解く。
 - ・自分が問題作成者だったら何を覚えてほしいか考え、ポイントをおさえること。テストはテクニックなので、実践へ向けた学習と離して取り組むといいと思う。この姿勢は国試対策にもつながると感じた。
 - ・返却されたレポートの見直しや、教科書を読み直すこと。
 - ・一発勝負なので、確実に答えられるくらいまで理解するよう心がけることが大切だと思う。そのために日々のレポート作成が力になるのだと最近になってようやく理解した。
 - ・レポート学習と同じく、時間をかけて行うべき。自分はそれほど時間をかけなかったので、納得した結果につながらなかった。
 - ・『レポート課題集』の課題をまとめ、覚えるようにした。
 - ・1点に集中して覚えるより、いくつかの事項を関連づけて説明できるように意識すると本番でも書きやすいと思う。
 - ・なるべく毎回、1科目でもどんどん試験を受ける。問題用紙をコレクトしていくと科目の出題傾向が把握でき、科目終了試験の対策が立てやすくなる。
 - ・何度か受けることで、問題傾向は分かるが、きちんと理解していないと試験の回答ができない。特に用語の説明は覚えていないと書けない。
 - ・過去問をみて勉強していたが、ある時の試験で全く勉強していなかった部分が出ました。過去問は、ある意味「やまをかける」ことであって、教科書に一通り目を通すことは大切なことだと気づきました。
 - ・科目修了試験の準備は、学習するいい機会であると捉える。

●通信教育部でのスクーリングで印象に残ったことを教えてください。

- ・全国から様々な年齢職業など背景のことなる方々と交流でき、とても刺激的だった。勉強のモチベーションの向上、維持するためにも役だった。皆さんの「想い」を知り、自分の原動力を忘れない励みとなった。
- ・オンデマンドで視聴する中でも先生方の人間的な面が垣間見え、勇気付けられる気が致しました。
- ・最初の頃はスクーリングで覚える内容が多くて授業のペースに慣れるまでが大変でしたが、先生が熱く語った学説と配付された資料を振り返ることで、それまで理解できなかった科目の内容が少しずつ頭に入るようになった。
- ・スクーリングへ参加することで、やる気のスイッチが入る気がした。
- ・以前在籍していたある通信教育部は教科書も旧字体を使っているなど、時代にそぐわず、スクーリングの開催も限定的だったため中途退学しましたが、東北福祉大通信教育部に巡り会えたことで、卒業することができました。スクーリングが身近に受講できたことが大きかったのではないかと思います。
- ・配付されるレジュメや資料などを基に、受講後に自分なりにまとめておくと、国家試験を学習するうえでの参考書代わりに役立つと思った。
- ・スクーリング資料は、レポート作成や国試対策のうえで宝のような存在でした。「社会保障論」「公的扶助論」の阿部裕二先生の資料は、とても役立った。「この資料は、印刷された段階で過去のものになる」との発言は、新しいデータは自分で積極的に収集して直しなさいと教えてくれるものだった。
- ・福祉大の授業では、いくつかの授業で先生方が大切なところや用語をゆっくり繰り返し繰り返してくれる。これがとてもよかった。「ゆっくり、はっきり、何度も繰り返す」なかでも菅原好秀先生の「福祉法学」は、ユーモアあふれる用語解説と事例で、繰り返された表現は今も耳に残っています！
- ・「社会福祉原論」の田中先生の講義は大変印象深く、なぜ自分が福祉の道へと進んでいこうとしているのかを、もう一度考えさせられるものでした。
- ・川口正義先生のスクーリングは非常に心に残るものであった。社会福祉士としてよりも人としてどうあるべきかを学んだ。
- ・赤塚先生の「福祉社会学」はとても楽しく、それでいて内容も濃く非常に印象に残っています。
- ・「社会福祉援助技術演習B」スクーリングでの関川先生の講義内容には、今までの自分が行ってきた援助がいかに甘い物であったかを思い知らされた。特に「根拠＝エビデンス」を明確にして援助を行うことが大切ということに対して感銘を受けた。そして、人に対して根拠を持って説明できて、自らの技術になるという考え方は共感を覚えた。以上の2点は現在の業務において心の拠り所になっている。

●通信教育部で学んだことはどのように役に立っていますか（社会福祉学科）。

- ・社会保障制度など改めて理解し直す機会となった。また、高齢者にとどまらず、児童・障害者分野も学べたことで見識が広がった。広い視野で、多角的に社会を捉えることができるようになったことは、仕事に限らず、生きていくうえで重要なことだと感じている。
- ・レポートにより考え方を学びました。物事を理論立てて取り組むなどが仕事上のあらゆることに役立っています。
- ・社会全体のニュースを詳細にチェックし、いかにして問題点を解決できるか否かを常に考察できる「ソーシャルワーカー頭」になりました。これからの実践で、考察した社会全体の改善案を実現できるようにしていきたいです。
- ・大学で学んだことは、最新の学術に基づいて講義されており、仕事に多に活用できた。
- ・家族、自分の生活課題への考え方、自己覚知など、離れたところから状況を見る目が養われました。相談援助の演習・実習を通じ、自分の価値観や傾向が相手とのやりとりによび影響を実感しました。何気ない日常会話や人間関係構築においても、時折意識するようになり役立っています。
- ・自分自身を含めて人を理解し、相手を受け止めることの重要性を認識できたことで60歳になって一回り成長できたように思う。
- ・現在の相談業務において、入学前より客観的に物事を考え、利用者の思い、おかれている状況、なぜそのような状況になったのか、なぜ利用者がそのように考えているのかなど、様々な視点から考えられるようになった。
- ・障害者福祉分野で仕事をしているので、制度（法律）や地域資源に関する知識や相談援助に関する知識は日々役にたっている。

●通信教育部での学びを今後どのように活かしていきたいと考えていますか（社会福祉学科）。

- ・今しばらく社会福祉の学びに努め、社会福祉士として高齢者や障害者のバックヤードとして働きたいと思います。
- ・大学で学んだ知識全般については、今後の充実した生活、子どもへのしつけや教育の糧としたいし、できると考えている。
- ・社会福祉活動の中で、当事者への支援はネットワーク、チームアプローチを通して、当事者の望む方向性での問題解決を図っていきたい。
- ・職場での人との関わりのみならず、社会福祉を必要としているすべての人に対して活かしていきたいです。
- ・生活問題を抱えるあらゆる領域の人たちが、その人らしい自己実現ができるようにアクションしていきたいです。当面は、勤務先における、脳性マヒの

重度障害者の利用者の皆さんの自己実現のお手伝いです。

- ・実習先で、事務兼支援員として就職内定をいただき、平成28年4月より働く予定です。いつか相談員として働けることを目指し、利用者、職員、地域の方々との関係づくりを大切にしていきたいと思います。
- ・最初の目標通り、卒業→社会福祉士国家資格→スクールソーシャルワーカーの道を歩むことができそうです。早速、県教委からSSWの依頼が来ました。教育と福祉をつなぐ活動をしていきたいと思っています。
- ・現在の仕事である社協ソーシャルワーカーの業務に、知識・技術・倫理のすべてを備えた、相手の立場に立った相談援助技術を実践していきたい。
- ・演習系のスクーリングで繰り返し学んだジェネラリストとしての視点、スペシャリストとしての視点に留意して、環境も特性も異なる個人への適切な支援へとつなげたい。
- ・これまでの学習によって、利用者の視点に立った考え方だけでなく、地方自治体が運用する社会政策や福祉事業の経営のあり方に大きな課題があると感じました。今後は福祉事業の経営や利用者を悩ませるお金の問題に関する知識を勉強して、問題を表面だけでなくもっと掘り下げて解決できる総合的な能力を身につけていきたいです。

●通信教育部で学んだ感想や在学生へのメッセージをお願いします。

- ・“やってみよう”や“挑戦したい”という気持ちを今後も大切にしていきたいです。その気持ちを持つことが大切であると学んだ2年間でした。
- ・様々な方にお会いしたことは今後の糧になると思っています。確かにレポート作成や国家試験の勉強等、孤独なこともありましたが、どれもこれも私にとっては大きな経験です。2年間支えてくれたあらゆる方に“ありがとう”と思えるのは、ある意味頑張ってきた自分自身に向けてのものかもしれないと今思います。
- ・通学生とは違い、働きながら学ぶことは大変ですが、有意義な時間であることは間違いありません。途中で諦めないで楽しむ余裕を持って取り組んでください。せっかく決心したことです。後悔することがないように、自分のペースで学んでください。
- ・スクーリングに出席してください。そして、仲間を見つけてください。仲間がいることで頑張れます。レポートの進捗状況を仲間たちと確認することで、いい刺激となり尻を叩かれていきました。
- ・年齢・職業・地域様々な同級生と関係を築くことができました。これは先生方や職員の皆様のサポートや工夫のお陰です。通信教育部での学習を通じ、「人生はいろんな歩み方がある」こと、「福祉は支援者自身の生活が安定して

いなければ、よりよい支援はできない」ことを実感しました。

- ・なぜ社会福祉士なのか？どうして必要なのか？それらをより深く、たくさん考えることができた。講師の先生たちもおもしろく、楽しい講義がたくさんありました。
- ・在学中のレポート作成中は長く感じたが、終わってみると3年間はとても短く、有意義であったことに気づいた。60歳で大学に入り、このような人生もあるのだと自分に自信がついた。
- ・入学当初、レポートをどう進めていいかわからない時に、事務局より連絡をいただき励ましていただいたのが思い出深いです。スクーリング時に、情報共有しながら、文献の探し方やレポートの書き方への理解を深めることができ、通信生であっても顔を合わせることが学びに大変重要であると思っています。レポートが卒業ぎりぎりでしたが、履修状況の送付、ネット検索で自分の状況把握に役立ちました。
- ・レポートの提出がまだだったため、演習を諦めていたところ、仕事帰りに事務局から「演習Aを受けませんか」という電話をいただき、頑張ることができた。今でも、その電話がかかってくる場所を通ると思い出す。4年間、本当にお世話になり、感謝している。
- ・自分の不注意で、2年で卒業のつもりが3年半かかってしまいました。反省すべき点も多くありましたが、無事に卒業できてよかったです。電話でも対面でも、職員の方々には丁寧に関わっていただき、大変お世話になりました。先生方の授業、指導はもちろんのことですが、『With』やメールを通しての励ましての言葉にいつも力づけられていたように思います。
- ・将来、社会福祉士として相談援助業務に就きたいと考えて、通信教育部での学びを決意したが、利用者の特性もニーズも多種多様であること、それゆえ、相談援助における自分の「引き出し」も多く作らなければと考えるようになった。そこで私が実践しているのが新聞の「人生案内」という人生相談コーナーに毎日、目を通すこと。相談者のあらゆる悩みのお便りに、作家などが答えているのだが、その返事の部分にいつも「こんなうまい返し方、言葉選びがあるんだ」と驚かされる。これらを参考にして、自分の幅を広げられたら、それが利用者の救いになることがあるかもしれない。
- ・通信教育部での学習を通じ、「人生はいろんな歩み方がある」こと、「福祉は支援者自身の生活が安定していなければ、よりよい支援はできない」ことを実感しました。
- ・不意に、職員の方々、何時に帰っているんだろうと感ずることがありました。そう思うほど身近な存在でした。在学生の方、悩みは伝えることで解消します。たくさん頼って、実りある学生生活を送ってください。